



2022年
秋号



北海道立向陽ヶ丘病院

認知症疾患 医療センター

☎ 093-0084

北海道網走市
向陽ヶ丘1丁目5番1号

TEL/FAX(直通)
0152-44-0500

お問い合わせ、ご相談等の際
は、上記までお電話をお願い
します。

Dementia Disease Medical Center

DDMC communication

北海道立向陽ヶ丘病院 認知症疾患医療センター通信

当認知症疾患医療センターでは、認知症の方やそのご家族が安心して住み慣れた地域で少しでも長く暮らしていけるように活動を行っています。

本通信は、当センターへの相談ケースや、皆様に知っていただきたいことなど、様々な内容について掲載させていただきます。

今回のテーマは、「**認知症の方の食欲不振について**」です。

認知症の親のことです。元気な頃は、よく食べる人だったのですが、最近食が細く、時間などいろいろ変えて試しているのですが、なかなか食べてくれません。何か良い方法はありますか？（認知症の方を在宅で介護する54歳 女性より）

～当院坂上管理栄養士に聞きました～

認知症は、アルツハイマー型、レビー小体型、血管性の3つが代表的で、種類によって食欲低下の状況が変わります。

アルツハイマー型では、食べ物の認識が難しくなること、お箸・お茶碗を上手く使えなくなることが原因となり、食欲低下を招きます。レビー小体型では、筋肉のこわばりや手足の震えが起こることで食事を取ることが困難になります。また、幻視の影響で食べ物に虫が入っているように見えることで食欲低下に繋がる傾向があります。血管性では嚥下障害が起こることで食事の際に咳き込みやむせが見られ、食欲が低下します。

認知症の人だけでなく、高齢者の場合は義歯などを使用していることが多いため、硬すぎる食材（きゅうりやトマト）、繊維が残る食材（ごぼうやたけのこ等）、口の中ではり付く食材（のりやお餅等）は禁物です。口腔内の状態や咀嚼を見ながら、食材を適切な大きさ、やわらかさで提供しましょう。刻まれたものやミンチ状のもの（ハンバーグ等）、ポタージュ状のもの、プリン状のものが比較的食べやすいとされています。

また、お店やスーパーなどに一緒に出かけて、本人の好みの食材を見ることが、実際に購入し食事として提供すると、食事中的会話も弾み食も進みやすくなります。

食欲の秋、食べ過ぎもまた注意が必要ですね！

